



地域コミュニティ事務所…池田市綾羽2-2-1 2階

コミュニティ通信 IKEDA

2022年
春季号
3月発行

令和4年度
事業&予算提案額

大阪府初女性市長
瀧澤市長 インタビュー
2P、3P

令和3年度実施済事業
Hotニュース
4P

令和4年度事業提案&協議会提案額 5,450千円 (基金積立 2,027千円)

にぎわいのあるまち 子育てのあるまち部会

2,016千円

- 池田学園教育活動支援事業 170
- 「小さな絵本館」推進事業 1,315
- 市民レクリエーション大会事業 400
- キッズランド支援事業 131

安全・安心のまち部会

200千円



- 14自主防災会
合同防災訓練支援事業 200

すごしやすいまち部会

162千円

- まちかどサロン 開設事業 96
- 園芸廃土処理設備補修
事業・ピット機材補修費 66

事務局・総務・広報部会

3,072千円

- 協議会事務所運営費 1,501
- 事務所事業費 100
- コミュニティ紙発行事業
(8,000部) 1回/年 116
- 地域掲示板設置事業(5ヶ所) 1,355

「共育のまち池田」の実現に向けて 池田地域コミュニティ推進協議会 との関わりについて

大阪府下初の女性市長

瀧澤市長に直撃インタビュー



3つの理念
人を育てる

未来を育てる
まちを育てる

令和3年8月に就任された今のお気持ちを伺かせ下さい

市民の皆さんからご期待をいただいているという事を日々感じながら仕事をしています。就任から4ヵ月程経ち、コロナのワクチン接種の体制をはじめ、市民の命と生活を守らなければならぬ非常に大きな責任を感じながら公務最優先で取り組んでいます。家族にも応援してもらいながら、もてる力を出し切るといふ思いで毎日向きあっています。

15年目を迎える地域コミュニティ推進協議会に対してどのようなお考えですか

15年間運営を担っていただっている協議会の皆さんには大変感謝しております。

地域分権は、日本初の制度として注目を集めていると思っております。しかしながら本市においても少子高齢化は進んでおりますし、またコミュニティの希薄化も進んでいます。地域の課題も複雑化・多様化しています。これらを解決していくうえでは地域の皆さんの参画というのが今まで以上に必要になってくると思っております。行政の力だけでは限界がありますので、地域の皆さんと共に池田のま

ちを創っていききたい、その中心を担っていただいているのが地域コミュニティ推進協議会の存在だと思っておりますので、今後も一緒にやっていきたいなと思っております。

協議会の組織の在り方や構成員の改組など協議会の今後の役割についてお聞かせ下さい

行政だけでは限界があることから、地域の皆さんと行政が対話をしながら予算を決め、初めて協働のまちづくりが推進できるものと思っております。15年経過して組織の在り方や、抱える課題も地域性や地域差が出てきている部分もありますので、整理をして進めていく必要があるのかなと思っております。

どの地域コミュニティ推進協議会の皆さんも、地域の多様な声を行政に届けるという役割は、同じ思いで担っていただいていると思いますので、より多くの団体や住民の参画が重要だと思います。様々な人を巻き込むことによって協議会の代表性の担保につながっていくと思えますし、そのためには行政がしっかりと入ってやっていかないといけないところですし、今年度と来年度で地域ビジョンの策定をすすめてゆく中でも皆さんの声を反映させていきたいと思っております。





構成員の件ですが、そもそもボランティアで地域のためにという思いで力を貸して下さっているわけですから、それを例えば市長の任命制にしようなどとは思っていません。一方で地域内のパイプ役については地域アドバイザーとして、行政が調整役の人を出して今やっていただいている事がよりよくなるように汗を流さなければいけないと思っています。

時代の状況に合わせながら、地域の方々の思いを潰さないようみんなで一緒に課題を解決していきたいと思えます。

現在実施している予算提案権についてのお考えをお聞かせ下さい

地域のニッチなニーズのくみ上げ、お任せ民主主義からの脱却という目標があり、一定の成果をあげていると感じています。

しかしながら、事業の固定化や補助金の占める額が高くなっている地域もありますので、皆さんと意見交換をしながら考えていく必要があると思っておりますが提案権については、従来通り個人市民税の1%を目安として今後も維持していきたいと思っております。



地域により温度差がある今、池田全域に於いて今後手直しの考えはありますか

地域によって温度差や特徴があるなどというのが率直な意見です。そういった情報の伝達や共有があれば全体の底上げに繋がるので、地域アドバイザー機能が必要だと思っております。行政が地域コミュニティと各団体や、コミュニティ間の橋渡し役をするというための人材を来年度4月から設置したいと思っております。このアドバイザーをうまく活用し、全体的なベースアップ・レベルアップにつなげ池田市を盛り上げていければと考えています。



広報部会の皆さん&サポーター

柱の一つ「人を育む」について
子どもを育てる母親に対する母子保健の施策が大切かと：女性視点からのお考えをお聞かせ下さい

私自身、娘二人を池田で産んで育てておりまして、出産直後に「ごんには赤ちゃん訪問事業」で、保健師さんや助産師さんに来ていただき、子どもの発達の様子を一緒にお話しした経験が非常に残っていました。母親の「鬱」の防止や児童虐待の防止、母親の精神的身体的フォローにもつながっていますので、この事業は継続していきたいと思っております。

また来年度新たに「宿泊型の母親の「産後ケア事業」を始めたいと思っております。産後の体の回復や心理的支援を病院や助産院で宿泊をして休めていただくというものです。

あと、離乳食講習会については、大阪青山短期大学の学生さんに動画作成を依頼していただき、近いうちにホームページ上でお見せできる予定です。まずは池田市をよく知ってもらい関係人口を増やしていくって「池田って意外にいいね」と多くの人に興味をもっていただきファンになっていただければと思います。

他にも6月に市民活動交流センターを池田会館跡に開設しますので皆さんの活発な交流の場になればいいなと思っております。



令和3年度実施済み事業

- 池田学園教育活動支援事業(MTP)
- 「小さな絵本館」推進事業
- AED管理事業(消耗品交換)
- 協議会事務所運営費
- 事務所事業費
- コミュニティ紙発行事業(8000部 3月末)
- 地域掲示板設置事業(3か所)

コロナ感染防止により中止になった事業

- 市民レクリエーション
- まちかどサロン開設事業(麻雀・カラオケ)
- キッズランド支援事業
- 園芸廃土処理設備補修事業

ウオンバット(ワイン)
ギネス認定おめでとう!
最年長33才 人間なら100才以上!

